

# チョウ・カレンダー

種名	場所	越冬	成虫の出現時期										食草 幼虫のエサ	蜜源 成虫のエサ			
			3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
● アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	白徳	サナギ*		●●●●●●●●●●●●●●●●										クスノキ ミカン科 同上 同上 セリ科	花蜜 花蜜 花蜜 花蜜 花蜜	
	ナミアゲハ	白徳		○	●●●●●●●●●●●●●●●●												
	クロアゲハ	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ナガサキアゲハ	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	モンキアゲハ	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
キアゲハ	白				○	○	○	○	○	○	○	○	○				
◆ タテハチョウ科	テングチョウ	白徳	成虫		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エノキ ホトギス、サルトリイバラ カナムグラ等 カラムシ等	樹液・花蜜 樹液	
	ルリタテハ	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	キタテハ	白		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	アカタテハ	白			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	ヒメアカタテハ	白	幼虫		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	カラムシ、ヨモギ等	花蜜	
	ツマグロヒョウモン	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	スミレ科	花蜜	
	ヒメウラナミジャノメ	白			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ススキ、チガヤ(イネ科)	花蜜	
	ゴマダラチョウ	白			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エノキ ヤナギ科	樹液	
	コムラサキ	徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	キジョラン	樹液・獣糞	
	アサギマダラ*	白徳			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	スミレ科	花蜜	
ミドリヒョウモン	白				○	○	○	○	○	○	○	○	○	ユキヤナギ、コデマリ	花蜜		
ホシミスジ	白					○	○	○	○	○	○	○	○				
○ シロチョウ科	キタキチョウ*	白徳	成虫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ハギ、ネム(マメ科)	花蜜	
	モンシロチョウ	白徳	サナギ*		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アブラナ科	花蜜	
	モンキチョウ	白	幼虫		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	シロツメクサ等(マメ科)	花蜜	
△ シジミチョウ科	ウラナミシジミ*	白徳	成虫												ハギ、クズ等(マメ科)	花蜜	
	ウラギンシジミ*	白徳													クズ等(マメ科)	腐果・獣糞	
	ムラサキシジミ	白徳		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アラカシ等 マテバシイ	樹液 樹液	
	ムラサキツバメ	白													フジ、ハギ等(マメ科)	花蜜	
	ルリシジミ	白	サナギ*												スイバ等(タデ科)	花蜜	
	ベニシジミ	徳	幼虫												カタバミ	花蜜	
ヤマトシジミ*	白徳													シロツメクサ等(マメ科)	花蜜		
ツバメシジミ	白																
▲ セセリチョウ科	イチモンジセセリ*	白徳	幼虫												チガヤ、ススキ(イネ科)	花蜜	
	チャバネセセリ*	白													チガヤ、ススキ(イネ科)	花蜜	
	キマダラセセリ	白													ネザサ、マダケ(イネ科)	花蜜	

## サクラの季節

▶風がぬるみサクラのつぼみが膨らむ頃、越冬していた◆テングチョウ、◆ルリタテハ、○キタキチョウ、△ムラサキシジミなどの成虫が目覚めます。数は多くないので、運が良いと出会えます(2021年には2月に気温が20℃を超える日があり、早くもこの日に○キタキチョウの飛翔が確認されました)。

▶サクラが咲く頃、○モンシロチョウがサナギから羽化し、ナノハナ、タンポポなどの間を飛び始めます。

## ツツジの季節

▶サクラが散ってツツジの季節になると、●ナミアゲハ、◆ツマグロヒョウモン、△ヤマトシジミなども羽化し、飛び始めます。

▶気温が20℃を超えるとチョウの動きは活発になります。ゴールデンウィーク頃から●アゲハ類が一気に増え、ツツジやシャリンバイなどで吸蜜します。

\* なおアオスジアゲハは、他のアゲハ類とは違ってツツジ(春)、オニユリ(夏)、ヒガンバナ(秋)など赤い花では吸蜜せず、白っぽい花を好むようです。

## 梅雨時の蜜源

▶梅雨の頃には、カタバミ(花期が長い、日本庭園では雑草として扱われがち)やノアザミ(訪れるチョウの種類が多い)などがチョウたちを支えます。日本庭園では梅雨時の蜜源が不足しがちですが、白鳥庭園では、植えたばかりのノアザミに様々な種類のチョウが入替わり立ち替わり訪れました(2021年~池の西岸にバタフライガーデンを実験整備中)。

\* 一般の公園や道端の場合、下記のような花に多くの種類のチョウが訪れます。

ハルジオン(4-6月)、ヒメジョオン(6-8月)  
シロツメクサ(4-10月)、アベリア(5-11月)

森林性のチョウ

草原性のチョウ

\* 秋によく見かける

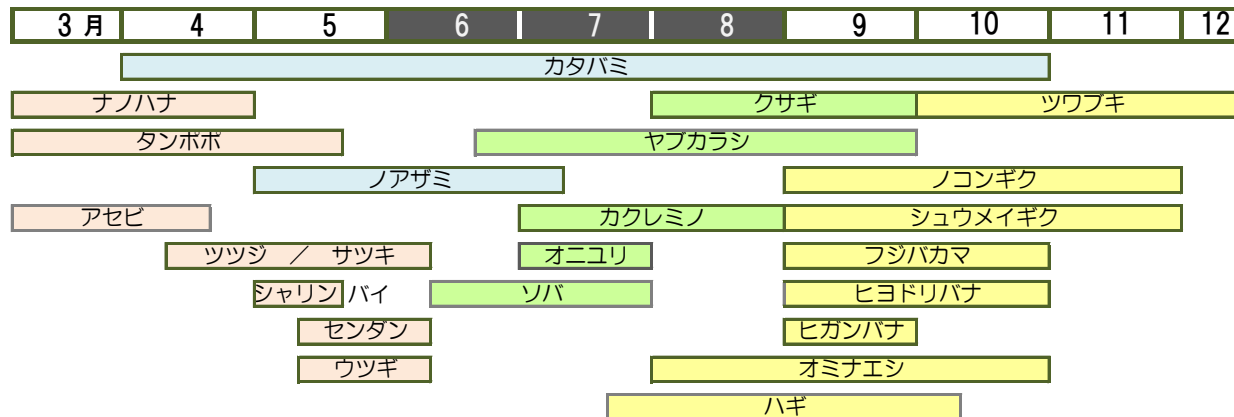
東京・大阪近郊での出現時期

日本チョウ類保全協会編「フィールドガイド 日本チョウ」(2012, 誠文堂新光社)をもとに作成。

○ 白鳥庭園or徳川園で確認記録のある時期

◎● 同(同じ観察日に5頭/10頭/20頭以上の確認記録あり)

# 和の蜜源カレンダー (蜜源のリレーは、つながっているか?)



	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
● アオスジアゲハ	★									
● ナミアゲハ	★	★								
● クロアゲハ			★	★	★	★				
● ナガサキアゲハ			★	★	★	★				
● モンキアゲハ			★	★	★	★				
◆ キタテハ	★	★								
◆ ヒメアカタテハ	★	★								
◆ ツマグロヒョウモン			★	★						
◆ アサギマダラ*										
○ キタキチョウ*	★	★	★							
○ モンシロチョウ	★	★	★							
△ ウラナミシジミ*										
△ ベニシジミ			★							
△ ヤマトシジミ*			★							
△ ツバメシジミ			★							
▲ イチモンジセセリ*										
▲ チャバネセセリ*										
▲ キマダラセセリ										

\* 秋によく見かける    ★ 白鳥庭園・徳川園で吸蜜を確認  
 ☆ ネットに吸蜜画像あり    S 白鳥庭園にあり    T 徳川園にあり  
 ● アゲハチョウ科    ◆ タテハチョウ科    ○ シロチョウ科    △ シジミチョウ科    ▲ セセリチョウ科

## 夏場の蜜源

▶ 蜜源となる花の少ない夏場の日本庭園では、チョウの姿も少なくなります。そんな中でヤブカラシは、●アゲハ類にとって夏場の貴重な蜜源です(つる性でツツジ等の植込にからむため、樹木目線の人からは嫌われがちですが…)。白鳥庭園では、2017年から花のある間はヤブカラシの除草を控え、夏場のアゲハ類を支えています。

▶ 徳川園の夏場は、オニユリやカクレミノなどが辛うじて支えています。白鳥庭園では2021年に植えたオニユリの成果が、来夏に期待されます。

\* なお同じユリでも、テッポウユリやタカサゴユリではチョウの吸蜜は見られず、ヤマユリではモンキアゲハの事例が見られる程度です(ネット画像の検索結果)。

▶ 白鳥庭園・徳川園の○モンシロチョウは、従来、5-6月には見られたものの夏には姿を消していました。白鳥庭園では夏場の○モンシロチョウ対策としてソバを植えた所、夏場の吸蜜が確認されました(2021)。

## 秋のチョウ

▶ 残暑がやわらぐと、秋のチョウの出番です。△ヤマトシジミが急増し、△ウラナミシジミや▲イチモンジセセリがハギの花を訪れ、木立の周囲では△ウラギンシジミが銀白色の翅をひらめかせます。

▶ ●アゲハ類は、秋口にはヤブカラシやオミナエシ、彼岸にはヒガンバナで吸蜜し、10月には急減します。

▶ 10月になると、南へ渡る途上の◆アサギマダラが一時立ち寄りませす。この時期に人気の蜜源はフジバカマです。白鳥庭園(上ノ池西岸)のフジバカマでは、9種類ものチョウが吸蜜しました。

▶ 晩秋のチョウを支えるのはツワブキです(12月まで咲いている)。秋の深まりとともに数を増す○キタキチョウも、ツワブキに支えられています。

## 蜜源リレーの課題

- ▶ 不足しがちな梅雨～夏場の蜜源補強
- ▶ 雑草扱いされがちな和の蜜源・食草の温存・活用(タンポポ、カタバミ、スミシなど)